

お迎えの信仰

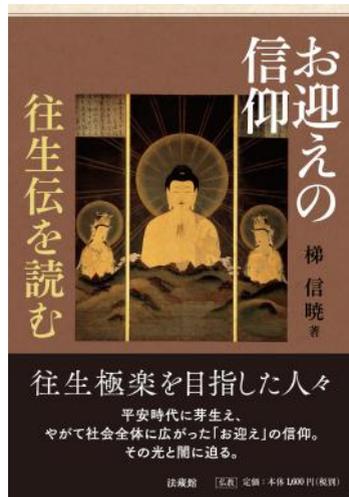
— 往生伝を読む

仏 教

かけはし のぶあき

梯 信曉著 ▼46判・並製カバー・242頁・本体一、六〇〇円十税

2020年5月刊行



往生極楽を目指した人々
平安時代に芽生え、
やがて社会全体に広がった「お迎え」の信仰。
その光と闇に迫る。

天皇から庶民まで、往生極楽を目指した人々の命終時に現れた不思議な現象の記録「往生伝」を現代語訳し、「お迎え」信仰の実態に迫る。

【目次】

はじめに

一 日本往生極楽記

- 1 序
- 2 聖徳太子—日本仏教の開祖、妃とともに往く
- 3 行基—大仏建立の立役者、鬼も認める極楽往生
- 4 善謝・隆海—南都三論宗の碩学、阿弥陀の讃を唱えつつ
- 5 円仁—比叡山不断念仏の創始者、手に定印を結び阿弥陀を念じつつ
- 6 増命—比叡山西塔の造営者、金色の光に照らされて
- 7 無空・済源—お金に執着すると往生できない？
- 8 明祐・成意—齋食の戒めを守らない者は？
- 9 智光・頼光—阿弥陀仏の掌に示現された浄土図
- 10 延暦寺僧某甲・兼算・尋静・春素—観想念仏・称名念仏、どちらでも大丈夫

……ほか

二 続本朝往生伝

- 1 一条天皇・後三条天皇—天皇でも臨終正念は必須
- 2 藤原頼宗・源顕基・大江音人—公卿三人、天台僧の指導によって
- 3 遍照—天狗が語った高僧の往生
- 4 尋禅—摂関家の御曹司、良源の衣鉢を継いで
- 5 覚運—論議の達人、病苦の中でも一糸乱れず
- 6 源信—天台念仏の大成者、下品の往生を目指す

三 拾遺往生伝・後拾遺往生伝

- 1 最澄—山家の大師、遺戒を定めて
 - 2 相応—回峯行の創始者、不動明王に導かれ
 - 3 永観—東大寺別当、民衆とともに称名念仏の中で
 - 4 良源—比叡山中興の祖、閻魔大王も一目置いた傑僧
 - 5 良忍—天台声明の祖、融通念仏のおかげで
- 付録 楞嚴院二十五三昧過去帳
おわりに

……ほか

◆著者略歴

一九五八年大阪市生まれ。一九八二年早稲田大学第一文学部東洋哲学専修卒業。一九九二年早稲田大学大学院文学研究科東洋哲学専攻博士後期課程退学。二〇〇六年博士(文学)早稲田大学。現在、大阪大学文学部教授、龍谷大学講師、武蔵野大学講師、浄土真宗本願寺派中央仏教学院講師。
〔著書〕
『宇治大納言源隆国編 安養集 本文と研究』、『奈良・平安期浄土教展開論』、『インド・中国・朝鮮・日本 浄土教思想史』、『新訳 往生要集』上・下。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
ISBN: 978-4-8318-6068-2 C1015	法藏館 本体一、六〇〇円十税
お迎えの信仰 — 往生伝を読む	梯 信曉著
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp